

【諫早市】
校務 DX 計画

1、 クラウドサービスの活用

本市では、「教員と保護者間の連絡」に安心安全メール、「教員と児童生徒間の連絡」に Google Classroom を使用するなど、クラウドサービスを活用するにより、業務の効率化、ペーパーレス化に取り組んでいる。しかしながら、クラウドサービスの活用については学校間において活用の格差が見られることから、活用が進んでいない学校の把握、活用が進んでいる学校からの情報共有を行っていくとともに、先進的な活用事例の情報収集を行い提供していくことで、校務 DX の推進されるよう支援していく。

2、 FAX でのやり取り・押印見直し

本市では、事業者とやり取りを行う際に FAX を使用することがあるが、学校間または教育委員会とのやり取りは校務支援システムを使用しているため、FAX は使用していない。今後について、学校とやり取りのある事業者に対してはメール等の運用へ変更していただくよう依頼を行い、原則 FAX の運用しないこととし、廃止に向けて取り組んでいく。

押印については、学校と教育委員会間においては、可能な限り押印を省略し業務の効率化とペーパーレス化を図っているところである。しかしながら、学校の業務においては押印を行っている業務があるため、押印の見直しを行い、可能な限り押印を省略していくことで業務の効率化とペーパーレス化を推進していく。

3、 校務支援システムについて

本市では、校務支援システムを導入したにより、児童生徒名簿を一括で取り込むことができるようになったこと等、不要な手入力作業がなくなり業務の効率化が図れている。今後においても、校務支援システムの活用を進め、業務の効率化を図っていく。

4、 次世代の校務デジタル化

本市では、校務支援システムを閉域網のネットワークで運用する「校務系」、インターネットやメールを行う「行政系」、児童生徒が一人一台端末で使用する「学習系」の3系統のネットワークがある。それぞれの端末ごとにログインが必要であり、データのやり取りができず業務の効率化が図れない状況である。そのため、今後においてはネットワークの統合や校務支援システムのフルクラウドサービスへの移行など、校務デジタル化を実現するための検討を行っていく。